

## 平成 25 年度第 3 回常陸太田市子ども・子育て会議

### 議事要旨

開催日時 平成 26 年 3 月 26 日（水） 13 時 30 分～15 時 20 分

開催場所 常陸太田市役所 大会室

出席委員 9 名

#### 会議経過

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事

1. 子ども・子育て支援ニーズ調査集計結果について

- (1) 子ども・子育て支援ニーズ調査の概要について 13 : 45

事務局から資料 1「常陸太田市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」を説明

(委員意見)

ニーズ調査の有効回収率が約半数程度とのことだが、考え方によっては半数が回答していないと言える。回収率がすべてではないとしても、回答をしなかった方々をどうとられているのか。回答をしなかった原因がわかれば教えてほしい。

(事務局)

今回のニーズ調査は、国から示されたものをベースにしに実情を踏まえて作成したものだが全体的に設問量が多かったことがあげられる。回答終了までに 30 分程度かかる場合があり、回答を途中で断念したり、最初から時間の関係で取り組まないといったケースがあると思われる。また、ニーズ調査に回答しても意見が反映されにくいといった期待の薄さも一つの理由だと思われる。ニーズ調査から量の見込みを推測していくことになるが、声なき声をどのように反映していくか今後の課題としていく。

(委員意見)

意見のある方や、行政に関心のある方は協力的であろう。今回の結果が多くの子育て世代が求める意見ではないと思われる。声なき声を是非くみ取ってほしい。

(事務局)

今回のニーズ調査報告書は、国に報告する速報値のデータであり、回答者の平均化されたデータとなっている。たとえば幼稚園や保育園に通わせる利用者、在宅の子どもの親の意見が同じデータとなって示されている。設問によって幼稚園、保育園別にクロス集計するなど、目的意識をもって分析していきたい。こういった分析があれば良いとか、後日でも構わないので意見をいただければと思う。

(委員意見)

22 ページの土曜・休日保育や、13 ページの延長保育の設問があるが、サービス業の職場では、土日の保育や夜遅い時間まで保育をしてくれる施設があると助かる。そうした施設があるかもわからない方もいるので、情報発信を強化していただきたい。

(事務局)

了解しました。

(委員長意見)

27 ページで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の回答が就学前児童調査で 35.3% あるが、3 ページの「日頃、子どもをみてもらえる親族・知人」の有無の設問とクロス集計してみるとどの層が回答しているのか把握できてよいと思う。

また、19 ページでは、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答者が 58.7%いるが、こういった層なのか。

常陸太田市の課題である子育て世代の転入を望むのであれば、今後、市内に呼び寄せたい層を意識して分析しても良いと思う。

(事務局)

地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が多くなっているが、この事業を主に利用する 0～2 歳が、保育園を利用している保護者も回答しているので、割合を押し上げている可能性がある。保育園を利用していない保護者だけに絞ると、この割合は下がっていくと思われる。

## (2) 総人口と年少人口の推計について 14 : 10

事務局から資料 2「推計人口について」を説明

特になし

## (3) 教育・保育及び地域子育て支援事業の「量の見込み」について 14 : 25

事務局から資料 3「教育・保育及び地域子育て支援事業の量の見込みと目標量（算出の流れ）」、資料 4「教育・保育及び地域子育て支援事業の量の見込みと目標量の算出（H27-31）」、及び資料「平成 26 年度子ども・子育て支援事業関係スケジュール（案）」を説明

(委員長意見)

確認だが、量の見込みと目標量を算出したものを資料「平成 26 年度子ども・子育て支援事業関係スケジュール（案）」の中にある 5 つの条例や子ども子育て支援計画にいかしていくのか。

(事務局)

条例については、量の見込みと目標量は盛り込まれることはないが、計画には、資料 4 の平成 27 年から 31 年の量の見込みや確保方策が盛り込まれることになる。

(事務局)

常陸太田市は今後も人口減少が続くと思われるが、資料4の1ページにある平成31年度の保育施設(2号、3号の合計)の量の見込みが619人に対し、定員は655人となり36人の定員割れが予測されている。また、幼稚園と保育園の需要人数がかたよっているので、集団保育の重要性の観点から市全体の定員問題を検討していく必要があると考えている。幼稚園では、児童数が全体で10名程度の人数になるところもある。

(委員長意見)

今後の話だが、量の見込みや目標量に関してこれからの会議で議論していくことになるのか。また、常陸太田市の子育て支援についても会議で議論していくことになるのか。たとえば資料4に民間保育園の開設について記載されているが、保護者にとっては良い話だが、入園している子どもの発達の問題に対して市と民間保育園の連携とか、民間保育園と市の健康づくり推進課(保健センター)との連携とか、そうした議論を会議でしても良いのか。

(事務局)

この計画には量の見込みや目標量以外にも、児童虐待や障害福祉、あるいはひとり親支援など広く子育て支援事業の部分も含まれてくる。そうした議論も必要になってくると思われるので、ご意見をいただきたい。

## 2 その他 15:05

事務局より子育て家庭応援情報誌「やまぶきキッズ!」について連絡

## 4. 閉会 15:20

子ども・子育て会議委員名簿（委嘱期間 H25.8.1～H27.7.31）

|    | 選出区分      | 氏名    | 役職名等                      | 備考 |
|----|-----------|-------|---------------------------|----|
| 1  | 医療関係者     | 尾内 映子 | ひたちの中央クリニック院長             |    |
| 2  | 保健関係者     | 山口 喜市 | 茨城県常陸大宮保健所健康増進係長          |    |
| 3  | 福祉関係者     | 黒澤 貴子 | 常陸太田市民生委員児童委員協議会主任児童委員    |    |
| 4  | 企業関係者     | 木村 広美 | (株)かわねや管理部総務人事課           |    |
| 5  | 教育関係者     | 古平 均  | 常陸太田市幼稚園長会長（のぞみ幼稚園長）      |    |
| 6  | 保育関係者     | 増子 春江 | (福) 西山苑よすみ保育園長            | 欠席 |
| 7  | 学識経験者     | 中島美那子 | 茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授     |    |
| 8  | 子育て支援     | 秋山 智代 | 子育て調査隊ひこうき雲代表             |    |
| 9  | ボランティア関係者 | 小泉 正人 | 子育て上手常陸太田推進隊              |    |
| 10 | 市民（保護者代表） | 深作 泰宏 | 常陸太田市PTA連絡協議会会長（山田小）      | 欠席 |
| 11 |           | 水野 晃子 | 常陸太田市幼稚園PTA連絡協議会会長（金郷幼稚園） | 欠席 |
| 12 |           | 海老根理恵 | 常陸太田市公立保育園保護者の会会長（金砂郷保育園） |    |

【事務局】（常陸太田市保健福祉部子ども福祉課 Tel72-3111）

| 役職            | 氏名     | 備考 |
|---------------|--------|----|
| 子ども福祉課長       | 塩原 正己  |    |
| 子ども福祉課長補佐     | 荷見 久志  |    |
| 子ども福祉課子ども家庭係長 | 大須賀 真吾 |    |
| 子ども福祉課子ども家庭係  | 鴨志田 智  |    |
| 子ども福祉課保育係長    | 安嶋 勝弘  |    |